

- アルメックでは、本年2月号をもって一旦終了しました「ホットニュース」を、今月から再度皆様にお届けさせていただき運びとなりました。前号までと同様に、価値のある様々な情報を「ホット」なうちに、ニュースとしてお届けできるよう心がけて参りたいと考えています。なお、11月からは毎月15日の発信を予定しておりますので、ご愛読何卒よろしくお願い申し上げます。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

(事務局)

---

アルメック・ホットニュース

---

第108号 (平成19年10月18日発行)

ALMEC Corporation

---

### ●第5回全国路地サミット「静岡新居町大会」開催間近

「全国路地のまち連絡協議会」というのがあります。路地を愛でその歴史的文脈を研究し、視察して地元の方と共に楽しくお酒を頂く団体です。

<http://jsurp.net/roji/>

この協議会が主催する最大イベントは「全国路地サミット」です。平成15年に「第1回東京十条大会」、平成16年に「第2回大阪空堀大会」、平成17年に「第3回東京神楽坂大会」、平成18年に「第4回長野諏訪大会」という実績です。

全く堅苦しくないサミットで、かつ、キャラバン的な意味合いがあり地元の活性化を意識しているため、引き合いが沢山あります。来年も既に、「長野松代町」と「兵庫神戸市」が手をあげられています。

今年の第5回は、静岡県の新居町で10月27日(土)と28日(日)に開催します。新居町では路地のことを「小路(しょうな)」と呼ぶそうですが、江戸時代から変わらぬ小路が街を形成し、優れた歴史的建造物の運営が住民自らの手で行われています。お近くの方は是非サミットへの参加をお願いします。

また、連絡協議会はインターネットを駆使し、手弁当でサミットを始めとするまち歩きなどの企画を行っています。その世話人が18名いますが、うち2名が当社スタッフです。こちらの方も運営に興味がある方などの加入をお待ちしています。

(第二計画部 高尾利文)

### ●バリアフリー新法への期待

バリアフリー新法が平成18年12月に施行され、これを受けバリアフリー整備の指針となるガイドラインが順次策定されているところである。公共交通機関の旅客施設及び車両等については、7月下旬にガイドラインが公表されている。また道路及び都市公園についても、すでにパブリックコメントが実施されている。

先月パブリックコメントが実施されていた道路のガイドラインを見ると、その内容の特徴は、旧交通バリアフリー法のときには基準の運用が中心であったものが、新法のガイドラインでは計画の考え方が追加されたことである。

これまでのバリアフリー基本構想では、計画の考え方は各市区町村に任されており、バリアフリー化を行う経路については整備ができるところだけを選定する傾向があった。新ガイドラインでは、地区のあるべきネットワーク全体の観点に留意し、部分的な整備ではなく段階的かつ計画的な整備によってネットワーク形成を図ることとしている。また、道路と沿道建築物の一体的な整備に配慮することも書かれている。

詳細は、今後公表されるガイドラインを参照してほしい。バリアフリー新法に基づき、地域のニーズに合った「まち」の面的なバリアフリー化が進むことを期待したい。

(第一計画部 永元真也)

---

発行責任者：代表取締役 庄山 高司  
事務局：株式会社アルメック 業務部  
東京都目黒区青葉台 1-19-14  
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210  
Eメール [mailnews@almec.co.jp](mailto:mailnews@almec.co.jp)  
ホームページ <http://www.almec.co.jp>

---